

といろ通信

2018年10月

第75号 (神無月)

こんにちは、皆様—という通信の時間となりました！KHJ全国ひきこもり家族会高知県支部やいろ鳥の会居場所「といろ」木曜日スタッフの川澤岳也です！(うわっ！枕言葉が長い！)今号もよろしく願います！

それでは、先月(9月)のといろの活動報告をしたいと思えます。どうか皆様、お付き合ってください。まずはこちらの写真から行ってみたいと思います。



このびびりは、8月25日に関西の支援者と一緒にといろにやって来たひきこもり当事者のお母さまが送って下さったものです。種がなく、食べやすくておいしかったです。どうもありがとうございます！続きますはこちらの写真をご覧ください！



先月24日に、といろでお月見会が催されました。坂本会長のほかに、私を含む当事者4名(計5名)が参加しました。あいにく、曇り空だったので、お月様は見られなかったのですが、みんなで雑談したり、月に関するクイズを行って景品を巡って競い合ったりしました。結果、火曜日にといろスタッフをしてくれている石川

佑太君の独り勝ちでした。ちなみに、この写真の料理はお月見会のために副会長の山本美香さんが作って下さったものです。美味でした。山本さん、どうもありがとうございます！ここでお月見会のために山本さんが詠んで下さった俳句を紹介します。

すすきのほ

満月とこれ

よくあうよ。

山本美香

他にもいくつか山本さんが詠んで下さったんですが、私の感性でこれをといろ通信に載せることにしました。お月見会当日には、当事者にはハードルが高すぎたのか、俳句・川柳のお披露目はありませんでした。ついですが、私の詠んだ俳句も紹介しておきます。

名月を

眺めて秋の

来るを知る

川澤岳也

お粗末様です！

ところで、またしても台風が来てますね。この原稿を書いている最中に、台風24号が西日本にいいよ接近しようか、という状況になっていきます。(とりあえず、我が家では雨戸を閉めて、植木鉢などを片付けました。)先月(9月)には北海道で地震もありました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、色々書いてますが、先月、ちょっとした変化がありました。私がモデラー(模型製作者)だということとは以前のといろ通信をお読み下さった方はご存じだと思っておりますが、このたび、模型製作のための道具を数点処分しました。高額な品物だった為、愛着があったというか、正確には執着ですね、そういうアイテムを手にかけていて、全く使いこなせていなかったんです。ひきこもり生活に入ってから2、3年たった時に手に入れて、少し使ってから筆筒の肥やしになってました(その道具を使うための本体を処分してから6年近く経つてます)。「いつかこの道具も役に立つ日が来るだろう」

とか思いながら、時間ばかりが経ってしまいました。肝心の「経験値」が少ないままでした(こっぴど書き方をすると分かりやすいですかね?)。ちなみに、地元には品物の価値を理解しているリサイクルショップはありませんでした。いくつかの店に電話で問い合わせたのですが、「取り扱っていないですね」とか、「現物を見てみないと分かりません」などの答えがあちこちで返ってきて落胆しました。覚悟はしていました。でも、しんどくなりました。」どうにかならないか?」と思って矛先を変えることにして、一か八かでインターネットで検索しました。かなりしつこく調べて、模型専門雑誌に広告を出している県外の店舗を見つけ、品物の査定を依頼しました。その結果、妥当な値段で買い取ってくれる店だと分かり、処分を依頼することにしました。その品物を追い求めています。資金に余裕があって、それが大きなきっかけになって手にすることになったのですが、自分のレベルに合わないアイテムだと、道具に振り回されてしまう、

ということが良く分かりました。高かったり、大きく宣伝されている品物だから良いという訳ではないとやっと気づきました。ロープレイングゲームのように人生は出来てないということの証明ですね。どうして今回の決断を下したか振り返ってみると、新約聖書に、『イエス・キリストに富者が「永遠の命を得るためにどうすれば良いか?」と尋ねた時、イエスは「持っているものを売り払いなさい。そして、貧しい者に分け与えなさい」と答えました。そして、質問した富者は悲しんで去って行きました。富者である青年は大金持ちだったからです』という話載っていて、迷い悩んだ末にやっと実行したわけです。長かったです。聖書に書いてあることが本当だったのかどうかは良く分からないのですが、実際、そのあとで、自分の生活の行き詰まりが変わる可能性が出てきました。ひょっとしたら、ホントかな?少し様子を見たいと思います。本の中には「本当である」ということを証明する事柄は載っていないわけですから!こっぴど

「各人の良心に解釈を委ねる」という答え方は、スピリチュアルな分野においてはままあることですが、それが壁になって先に進めない人が多いということがよく分かる事例ではないでしょうか?以前、といるがまだいの町にあった頃、先代のといるスタッフをされていた方に、「色々悩んでいることがある」みたいな話をした時、「答えは、すでに川澤さんの中にあるんじゃないですか?」という返事が返ってきて面食らった、ということがあったんですが、今度の出来事もそのようなものかもしれません。うーん、うーん、「楽しんで仕事が出来る」境地にどうやってたどり着けるんだろ?分からないです。それが今の悩みです。また本でも読みましようか?」

〈では皆様、また来月!〉

居場所「といる」の所在地は

〒781・5102

高知市大津甲969-3です。

TEL・FAXは

088-881-2350(注

目!電話番号が変わりました!)

メールアドレス

skatoiro1016@gmail.com

(こちらも注目!といるのネット環境改変に伴い、メールアドレスがこちらのGメールに一本化されました。何卒お間違えの無いようよろしくお願いします!)

相談メール・友達メール・お尋ねメール何でもOKです。フェイスブック上でも展開します!

へといるスタッフからのお願い・初めて来所される方はどうぞお読みください

といるは月・火・木・土曜日の午前10時から午後4時までの間オープンしています(ご注目!開所曜日が一部変更になりました!)。もちろん、アポなしでの来所も構いませんが、出来れば来る前に居場所にお電話いただけると助かります。といるの近くまで来てくれたら迎えに行くことも出来ます。一度試みに覗きにおいでくれたらと思います。最寄りのおさでん交通電停は「領石通」です。お菓子と飲み物など(麦茶・ジュース類)があります。漫画本コーナーもあります!「シヨジョ」とか「幽遊白書」とか(